

河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野（砂防）
令和5年度採択テーマ
事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	総合 評価
土砂・洪水氾濫対策検討における中規模出水時データの有効活用法の提案 (研究期間：R5 年度～R7 年度)	筑波大学生命環境系 教授 内田太郎	A
<研究概要> 本研究は、土砂・洪水氾濫対策の検討に用いる解析手法の妥当性検証および入力条件設定に資する中規模出水時の土砂動態に関するデータの有効活用方法を提案することを目的とした。本研究では、富士川流域を対象に既存の各種データを解析するとともに、多地点で新たなデータ取得を目的とした観測を実施した。その上で、規模の異なる出水時の土砂動態に関する数値解析を実施し、観測データと計算結果を多面的に比較・検証した上で、中規模出水時のデータの有効活用方法を提案した。		
<事後評価コメント> 本研究では、土砂・洪水氾濫対策の検討に用いる解析手法の妥当性検証に資する中規模出水時データの有効活用方法を検討・提案し、インターバルカメラで得られたデータを活用し、中小洪水時の土砂移動の現象を数値解析で表せるモデルで表現したことは、砂防行政への反映の観点から大いに評価出来る。 今後は、粒度分布や粒径は出水規模で変化することから、中小洪水時の土砂移動の現象を表現できるモデルを大規模出水時に当てはめる際の留意事項等について更なる検討を進めていただきたい。		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった
B：研究目的は概ね達成され、研究成果があった
C：一定の研究成果があった
D：研究成果があったとは言い難い